

商工連プラザ

VOL.332

商工会は 行きます 聞きます 提案します



1. 小金井公園で桜花を楽しむ来園者。正面建物は江戸東京たてももの園のビジターセンターである旧光華殿 (提供: 小金井市)
 2. 阿波おどり大会 (提供: 小金井市) 3. 整備された武蔵小金井駅南口広場での出初式 (提供: 小金井市観光まちおこし協会)



CONTENTS

- ② 「多摩地域ものづくり人材確保支援協議会」を設立
多摩地域のものづくり企業への就業促進と人材入れの環境整備を支援
- ③ 東京都議会自民党・公明党・民進党に平成29年度予算などで要望
「小規模企業支援のさらなる充実」、「行政域を越えた多摩地域の観光振興の推進体制構築と観光客誘致」など13項目
- ④ 自由民主党の平成29年度国家予算・税制改正等要望聴取会で要望
「小規模企業の持続的発展に実効性ある支援の拡充・強化について」など11項目
 - 新義友・東京都商工会連合理事(東村山市商工会会長)が東京都功労者表彰を受ける
 - 藤村典史さん(国立市商工会)が優秀賞を受賞
 ー 関東ブロック商工会青年部連絡協議会前代表者会議・主張大会
- ⑤ <連載>「わが社の経営革新計画」(キーンデザイン/東大和市)
- ⑥ <連載>「島おこし・多摩おこし」(スタート/小金井市)
多摩地域商工会エリアの景況(28年度第2四半期)
- ⑦ <連載>「私と商工会」(車いす工房 輪/東村山市)
- ⑧ 多摩・島しょ地域のイベント(12~1月)

掘り！ 商工会地域の観光資源

小金井市は人口約11万9,000人。市域のほとんどが住宅地という典型的な大都市近郊のベッドタウンです。東西にJR中央線、南北に小金井街道が走っています。

北に小金井公園、南には野川公園、武蔵野公園と、市内に3つの大きな都立公園があり、市民の憩いの場となっています。とくに小金井公園周辺は、春は江戸から続く桜花を楽しむ多くの人々でにぎわいます。秋は「小金井なかよし市民まつり」が開かれ、2日間で約8万人の人出があります。また、江戸東京たてももの園では四季を通じてイベントが開催され、小金井市商工会も模擬店出店や運営などで協力しています。

市の中心に位置するのがJR中央線武蔵小金井駅。2003～2009年に実施された高架化工事で、永年の懸案だった駅隣接の「開かずの踏切」が解消されました。整備された武蔵小金井駅の南北の駅前は、新春の「出初式」や夏の「小金井阿波おどり大会」などで活用されています。また、東小金井駅北口でも土地区画整理事業などが計画され、駅周辺の基盤整備が着々と進んでいます。



▲「多摩地域ものづくり人材確保支援協議会」の設立会議の様



▲支援協議会の会長に就任した鶴田和男都商工連副会長

東京都商工会連合会(都商工連)と、多摩地域の商工会、商工会議所、自治体、金融機関、ものづくり中小企業は8月25日、「多摩地域ものづくり人材確保支援協議会(支援協議会)」の設立会議を昭島市のホテルで開き、同支援協議会を立ち上げました。設立会議には関係者約40人が出席、都商工連からは、鶴田和男副会長、傳田純専務理事、村野哲也事務局長らが出席しました。

支援協議会は、都商工連が主体となって実施する「多摩地域中小企業人材確保支援ネットワーク事業」を推進するための基盤となる広範かつ広域のネットワークです。人材を集めて育成し、多摩地域のものづくり中小企業への就業促進と人材受入れ環境整備の支援をすることが目的です。東京都の「人づくり・人材確保支援事業」の補助金を活用します。

支援協議会は、多摩地域の商工会・商工会議所と都商工連を中心に、人材の確保や育成に課題を抱えている多摩地域のものづくり中小企業、中小企業支援機関、自治体(市)・金融機関など、幅広いメンバーで構成されています。具体的な事業内容は①事業計画の策定と人材確保支援事業の推進②多摩地域の人材確保育成に関する課題の把握と解決策の検討③事業の進捗管理、などです。

今回の設立会議では、支援協議会会長に鶴田都商工連副会長(あきる野商工会会長)を、副会長に伊東歌津己氏(伊東NC工業社長)・武蔵村山市商工会工業部会長と、長瀬透氏(ナガセ社長)・昭島市商工会工業部会長)の両氏を選出しました。会長に選出された鶴田氏は「本支援事業は、就業希望者と企業の受け入れ環境整備に対する支援により、ものづくり中小企業の人材確保を目指す新しい事業。困難や課題もあると思うが、前向きに乗り越え成果を上げていきたい」と力強く挨拶しました。

多摩地域ものづくり企業への就業促進と人材受入れ環境の整備を支援

都商工連・自治体・金融機関・中小企業などが連携 多摩地域ものづくり人材確保支援協議会を設立

多摩地域中小企業人材確保支援ネットワーク事業の具体的な支援内容

紹介予定派遣*を使った人材確保支援

● 就業希望者に対する支援 費用負担なし

【基礎研修：約半月】

就業への動機付け・意識改革をはかるための研修。ビジネスマナー、OA研修、コミュニケーション能力の養成、自己分析などを行う。

【ものづくり基礎研修：約半月】

ものづくりへの理解促進のため、ものづくりの基礎を学ぶ。公的試験研究機関での技術研修、工場見学などを行う。

【ものづくり現場研修：OJT 1~2カ月(最長4カ月)】

ものづくり中小企業向け人材を育成のため、基礎研修を終えた就業希望者を企業に派遣し、現場研修を行う。ものづくり現場での実習、面談などによる就職サポートを行う。

● 企業に対する支援 費用負担なし

- 研修の期間中には、採用や人材育成のノウハウを修得するセミナーを開催。
- 専門スタッフが企業を訪問し、コンサルティング支援を行う。
- 合同面接会でのマッチング、ホームページの企業情報掲載により採用支援を行う。
- 現場研修を通じて就業希望者の適性が見極めができる。
- 雇用された人材、企業に対するアフターフォローを実施。

*紹介予定派遣は、正社員などの直接雇用を前提として一定期間、派遣社員として就業し、派遣終了後、企業と派遣社員双方の合意があれば直接雇用の契約を結ぶことができる制度。

多摩地域ものづくり 人材確保支援協議会の 構成メンバー (設立時)

- 東京都商工会連合会
- 商工会
三鷹、小金井市、福生市、あきる野、東大和市、武蔵村山市、羽村市、瑞穂町、昭島市、日の出町
- 商工会議所
八王子、青梅
- 支援機関
中小企業振興公社多摩支社、多摩テクノプラザ、多摩職業能力開発センター、中小企業大学校東京校
- 金融機関
青梅信用金庫、西武信用金庫、多摩信用金庫、日本政策金融公庫立川支店
- 自治体
八王子市、青梅市、昭島市、福生市、東大和市、武蔵村山市、羽村市、あきる野市
- ものづくり企業
約20社

都商工連

都議会 自民党・公明党・民進党に
平成29年度予算などで要望

小規模企業の支援のさらなる充実と行政域を越えた多摩地域の観光振興の推進体制構築と観光客誘致が重点

村越会長、多摩地域を国際的な創業の拠点とする工業振興策を求める

東京都商工会連合会(都商工連)は9月5日、6日の両日、東京都議会の自由民主党、公明党、民進党を訪ね、平成29年度の東京都予算・制度などに対して要望しました。要望は13件でこのうち2件が新規の要望です。

今回の要望では、商工会等に対する補助金の安定確保や経営改善普及事業の拡充、円滑な事業承継など「小規模企業の支援のさらなる充実」と、東京2020大会の開催を見据えた「行政域を越えた多摩地域の観光振興の推進体制構築と観光客誘致」(新規要望)を重点要望としました。また、喫緊の課題である「中小・小規模企業の人材確保支援の強化」も新たに要望しました。

村越政雄都商工連会長は、東京都への要望の基本方針を述べる中で、「多摩



▶都議会自民党に29年度予算などで13件を要望(基本方針を述べる村越会長、左から3番目)

地域は豊かな自然と利便性を兼ね備えた特色ある地域であり、大学や研究施設が集積し人材も豊富。日本だけでなく海外の企業も呼び込み、起業や第二創業ができる環境を整備して欲しい」と述べ、多摩地域が国際的な創業の拠点となるような新たな工業振興策を打ち出すことを求めました。

村越政雄会長と、鶴田和男、栗山昇、佐藤文典、山下真一の4副会長、傳田純専務理事、村野哲也事務局長らが都議会各党を訪ね、要望を伝えました。村越会長が基本方針を述べ、傳田専務理事が重点項目を中心に要望について説明しました。

平成29年度東京都予算・制度などに対する東京都商工会連合会の要望は以下の通りです。

平成29年度
東京都予算・制度などに
対する要望

要望

- 一 小規模企業への支援のさらなる充実について
 - ① 商工会などに対する補助金の安定確保および経営改善普及事業の拡充について
 - ② 小規模企業の円滑な事業承継と創業の推進支援
 - ③ 地域を支える小規模企業の取組への支援の強化
- 二 商工会などを中核に支援力を強化した実効性ある支援体制の強化について
 - ① 商工会などによる経営発達支援や事業承継を推進する支援体制の強化
 - ② 経営指導員の二層の資質向上を図る中小企業診断士養成課程への派遣支援
 - ③ 商工会館の維持および耐震工事などへの補助制度
- 三 行政域を越えた多摩地域の観光振興の推進体制構築と観光客誘致について
 - ① 多摩の観光振興を推進する広域的なネットワークの構築
 - ② 観光客誘致を実現するプロジェクト実施への支援
 - ③ 観光客受入体制の整備への支援
 - ④ ものづくり中小・小規模企業への支援の充実について
- 五 中小・小規模企業の防災・省エネに関する支援の充実について
 - ① 耐震・省エネに対する助成制度の拡充
 - ② 防災・省エネ工事に伴う中小小規模企業の受注機会の確保

六 中小・小規模企業の人材確保支援の強化について

- 七 多摩地域都市基盤整備の早期実現について
 - ① 多摩都市モノレールの上北台から箱根ヶ崎への早期延伸
 - ② 東村山都市計画道路3・4・15の2号新東京所沢線の早期整備
 - ③ 西武新宿線・池袋線の踏切対策の早期事業化
 - ④ 都営村山団地の早期建設と住民への利便性を考慮した商店配置
 - ⑤ 都営住宅跡地「東大和市向原地区プロジェクト」の早期再開
 - ⑥ 横田飛行場の民間利用促進について
 - ⑦ 大規模小売店舗による地域社会への貢献について

島嶼地域要望

- 十 離島航空路および燃料への補助制度などの支援について
 - ① 離島航空路線における運賃引き下げ
 - ② ガソリン代補助の継続
- 十一 離島港湾施設などの整備について
 - ① 元町港の荷物取扱い場の整備
 - ② 辰巳埠頭荷さばき場の倉庫内の冷凍・冷蔵コンテナ用電源または冷凍・冷蔵コンテナ用電源場所への日よけ施設の設定
- 十二 光ファイバー超高速通信網の整備について
- 十三 小笠原空港の早期開設について
(赤色太字は平成29年度の新規要望、太字は新規の項目です)

都商工連

「小規模企業の持続的発展に実効性ある支援の拡充・強化」など 11項目を要望

多摩・島しょ地域の小規模企業の事業承継を支援するため、金融・助成・税制度などの見直しと拡充を求める

自由民主党の

国家予算・税制改正等要望聴取会

東京都商工会連合会(都商工連)は10月3日、東京・永田町の自由民主党本部を訪れ、同党東京都支部連合会が開いた平成29年度国家予算・税制改正等要望聴取会で「小規模企業の持続的発展に実効性ある支援の拡充・強化」など11項目を要望し、実現を求めました。

聴取会には鶴田和男、栗山昇、佐藤文典、山下真一の4副会長と、傳田純専務理事、村野哲也事務局長、斉藤彦明総務課長らが出席しました。鶴田副会長は、多摩・島しょ地域の小規模企業では、高齢化・後継者不足によって事業承継が難しい状況にあるとし、「事業承継を支援するため、今後、金融・助成、税制度などの見直しと支援の拡充をお願いしたい」と訴えました。

また、「多摩・島しょ地域の小規模事業者にとって東京2020大会への期待は大きい。大都市近郊にあって自然と融合した多摩の良さと、東京の魅力を観光やビジネスに結び付け、多摩地域の持続的発展につなげられるよう強力な支援を」と要望しました。

各要望項目の具体的内容は傳田専務が重点項目を中心に説明しました。



要望を述べる鶴田和男副会長(中央)

平成29年度 国家予算・制度などに対する要望

要望

- 一 小規模企業の持続的発展に実効性ある支援の拡充・強化について
- ① 小規模企業の実情を踏まえた具体的な支援施策の充実
- ② 小規模企業経営支援事業の安定確保と事業範囲の拡充
- 二 小規模事業者向け融資制度の層の充実についで
- 三 中小・小規模企業の円滑な事業承継に向けた税制制度改革について
- 四 消費税引き上げと軽減税率導入の再検討について
- 五 官公需のさらなる中小・小規模企業配分について
- 六 中小・小規模企業の社会保険料の負担軽減について
- 七 商店街の活性化について
- 八 多摩地区都市基盤整備の早期実現について
- ① 多摩都市モノレールの上北台から箱根ヶ崎への早期延伸

東京都功労者表彰

東京都功労者の表彰式が10月3日、都庁で行われ、新義友東京都商工会連合会理事(東村山市商工会長)が「産業振興」で功労者として表彰されました。今年、東京都功労者として表彰されたのは、地方自治、産業振興、文化、スポーツ、など13の分野の294人、23の団体です。新氏は都商工連理事や東村山市商工会長として地域経済の活性化に尽力された功績が認められました。



平成二十八年度 東京都名誉都民顕彰式場 東京都功労者表彰式場

表彰された新 義友氏

都商工連、多摩・島しょ経営支援拠点も出展 あおしんビジネス支援マッチング大会 開催



来賓挨拶をする 村野都商工連事務局長

青梅信用金庫主催の第16回あおしんビジネス支援マッチング大会が10月18日、昭島市のホテルで開かれ、広域多摩地域の製造業、サービス業、小売・卸売業など97の企業と、20の中小企業支援機関団体が出展しました。東京都商工会連合会(都商工連)と多摩・島しょ経営支援拠点は支援ブースを設置し、経営革新計画などの支援メニューをPRしました。また、小平、東久留米市、あきる野、瑞穂町の4商工会もブースを構え、製品をアピールしました。開会式では、村野哲也都商工連事務局長が来賓として挨拶しました。

- ② 東京外かく環状道路(関越道〜湾岸線)の早期開通
- 九 横田飛行場の民間利用促進について
- 十 離島航空路線における運賃引き下げに

- ① 小笠原空港の早期開設について (太子は29年度新規要望です)

国立市商工会の 藤村典史さんが優秀賞を受賞

関東ブロック商工会青年部連絡協議会 前期代表者会議・主張大会

関東ブロック商工会青年部連絡協議会の「平成28年度前期代表者会議・主張大会」が9月1日、さいたま市で開かれました。会議・主張大会には関東ブロック1都10県の青年部連合会から816人が参加、東京商工会青年部連合会(都青連)から33人が参加しました。東京都および各県の青年部連合会の代表者12人で競われた主張大会には、都青連から国立市商工会青年部の藤村典史さんが出場し、「サンマ男の縁結び」のテーマで熱演、優秀賞を受賞しました。最優秀賞は新潟県・吉川商工会青年部の矢澤雄一郎さんが受賞しました。

わが社の

新製品・新事業への挑戦で
さらなる飛躍を!

経営革新計画

PART 2
Vol.4

キーンナスデザイン株式会社

熱設計と機械設計を1社でこなす技術集団

大学では機械工学を専攻。卒業後入った会社で特殊環境用のテレビカメラロボットの開発を担当し、スーパーカミオカンデのメンテナンス用カメラロボットの開発にも加わった。1997年に日本ヒューレット・パックス(日本HP)の計測部門に移り、半導体テスターの開発に従事した。熱やノイズの対策を配慮したメカニズムの設計・開発が主業務だった。

しかし、米HPの計測部門の分離や事業統合、分社などが続き、キーンナスには所属していた部署が閉鎖されることになった。それを機に、2006年にキーンナスデザインを立ち上げた。それまでに蓄積した熱設計のノウハウを生かし、「熱の問題」に関わる電子機器などの開発・テスト・評価の環境を最適化するための冷却・温度調節機や治具・工具を設計開発する会社を目指した。

商工会との関わりは、PL(製造物責任)保険が商工会経由にすると割安になることを聞いて、東大和市商工会さんに相談に行った時からだ。経営指導員の方が熱心で、様々な中小企業支援制度があることを教えてくれた。その結果、アシストプログラムなども利用できた。経営革新計画の承認を目指すことになったのも、こつとした経緯から。担当した経営革新の指導員さんは、承認を得られるまで辛抱強く付き合ってくれた。

経営革新計画の中には「展示会に新しい製品を出す」ことが入っていた。実は、開発を始めた途端に難しいことが分かった。途方に暮れた。「何でも良いからデモ機を作ってくれ」と、半ばあきらめ気味で出展したが、水冷の小型クーラー(半導体用冷却システム)の試作品。ところが、植物工場の設備メーカーから「照明用LEDの冷却に応用できないか?」

という問い合わせがきた。この要求に何とか応えて製品を納入し一定の評価を得た。創業し、目標を掲げたものの、実際に何を会社の柱に据えるかで迷っていた時期でもあり、振り返ってみれば、「この展示会が「会社が何でメシを食うか」をハッキリ決めてくれた」と思っている。

これが現在の主力製品である卓上サイズの「小型無風恒温槽」の開発につながっていく。-55℃~150℃まで温度調整の温度を変化させ、熱伝導でサンプルの温度を調節する。これまでの大型恒温槽では温度帯変更回数にかかっていたのを数分間で行え、消費電力も10数分の1に削減できる。また用途に応じてカスタマイズが可能で、熱特性解析装置と連携させて熱抵抗値を高精度に測定するシステム環境も構築できる。

風力発電、太陽光発電ではパワー半導体が用いられているが、過酷な自然環境で使用するため、熱設計の重要度が増大している。また、自動車に搭載される半導体では最高250℃くらいまで求められ始めた。今後、それらの分野もターゲットにしていきたい。

熱設計と機械設計の両方を1社でこなすエンジニアリング集団として、ユーザーが開発する製品の小型化・高性能化・高制御化、さらにはコストダウンといった課題の克服に役立ちたいと考えている。

〒207-0021
東京都東大和市立野3-1-344-12
TEL 042-516-8604
URL www.keenuss.com



▶ 小型無風恒温槽

代表取締役
橋 純一 氏

経営者・人事労務担当の皆さま必見!

実践!
健康経営セミナー参加
無料

職場で取り組める

労務リスク対策が分かる!

東京商工会議所
The Tokyo Chamber of Commerce and Industry

12月13日(火) 14:00-16:00 すみだ産業会館(錦糸町) <イベント番号>73448
12月15日(木) 14:00-16:00 北とびあ(王子) <イベント番号>73449
12月19日(月) 14:00-16:00 府中グリーンプラザ(府中) <イベント番号>73450

※「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

実施概要

「感染症対応力向上プロジェクト」
事業説明会(東京都福祉保健局事業)

職場で取り組める「従業員研修」や、「感染症BCP」、「風しん対策」等当プロジェクトの内容をご説明いたします。

● 東京都 福祉保健局 健康安全部 感染症対策課 担当者 他

ストレスチェック制度への
対応について

昨年12月に施行されたストレスチェック制度への、取り組み方について解説いたします。

● 東京労働局 労働基準部 健康課 担当官

転倒災害防止対策について

労働災害のうちで、最も件数が多い「転倒災害」。災害事例を基に転倒災害対策を解説いたします。

● 東京労働局 労働基準部 安全課 担当官

セミナー詳細・参加申込は 東京商工会議所イベントカレンダーから
「イベント番号(上記)」で検索!お問合せ 東京商工会議所 サービス・交流部
TEL:03-3283-7670 Mail:kenko1@tokyo-cci.or.jp



小金井で街おこしに奔走する「地域活性化の仕掛け人」

(株)スタート 代表取締役 今井 啓一郎 氏 (小金井市商工会 理事)

この人に聞く 島おこし・多摩おこし

小金井市 vol.3

— 小金井市商工会の理事 (個店活性化委員会委員長) のほかにも、小金井市商店会連合会の会長や東小金井南口商店会の会長、東日本大震災復興応援小金井プロジェクト協議会会長を務めるなど、地域振興や活性化、復興支援のために走り回っていると伺っています。

30歳で工務店を興して数年経ったころ、誰にも誘われなかったので (笑い)、自分から「入れてくれ」と言って商店会に入った。腹の探り合いになる同業者の集まりより、異業種の方たちとの集まりのほうに興味があった。若手で活きのいい奴がいるってことで、名物市や地域のお祭りなどの企画や実行委員を任せられ、今にいたっている。商工会加入もごく自然な流れで。そろそろ落ち着いてもいい年齢なのに、いまだに動き回っているという感じだ。

— 何が行動力の源になるのですか？

何か新しいことをすると、新しい仲間が増える。それが今までの仲間と化学反応を起こして、また新しいアイデアが出てくる。この循環が楽しい。私自身はやや前のめり気味なのだが、周りがよく心得ていて絶妙なところでプレーキをかけてくれる。何とかうまくいっているのは、いい仲間がいるおかげ。もっともっと地域を活性化していきたい。

— 「ヒガコ (東小金井の略) サマーフェスティバル」や商工会の「こがねい十五夜場留」も独自の地域イベントとして定着してきました。

ヒガコフェスは夏まつり。盆踊りやダンス、ロックなどのステージショーがあり、花火も上がる。コアなファンもいて年々規模が大きくなっている。十五夜場留は飲食店などが中心の店巡りのスタンプラリーで、秋のイベント。ちなみに去年は85店が参加した。

— 今井さんが考える街おこしのポイントとは？

それぞれの街の特色を生かした「最強の“ムラ”づくり」をすることに尽きる。東小金井南口商店会でいえば、飲食に特化したムラでもいいかなと最近考えている。小さな店でも有名店になって、それが起爆剤になり次々にいい店が集まる。得意なところで突き抜けたほうがいい。

〒184-0011
東京都小金井市東町4-38-26
トーケンプラザ3F
042-388-6222

ヒガコサマーフェスティバルも年を追って盛況に▶



中小企業景況調査 多摩地域商工会エリアの景況

28年度 第2・四半期 7~9月

製造業の売上高に下げ止まりの兆し サービス業は悪化が続く

製造業

売上高前期比DIが改善し、次期見通しへの期待も高い。採算期中DIと資金繰りDIは悪化。経営上の問題点の第1位は6期連続「需要の停滞」。

小売業

売上高前期比DIと採算期中DIは改善。資金繰りDIは3期連続悪化。経営上の問題点の第1位は6期連続「大・中型店との競争激化」。

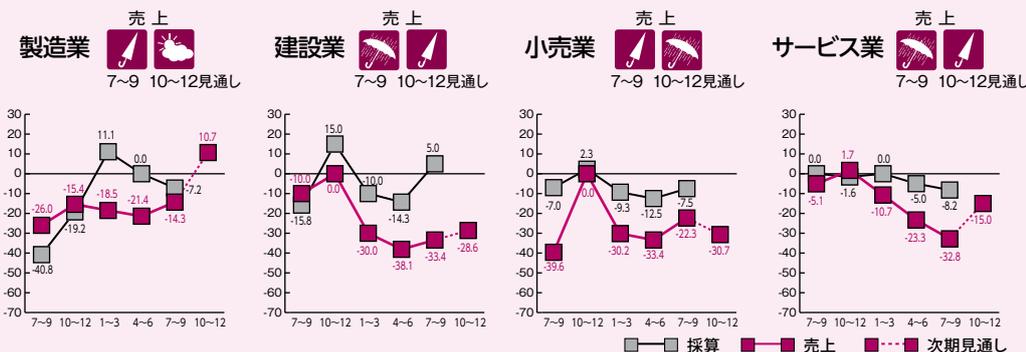
建設業

売上高前期比DIは改善。採算期中DIはプラスに転換。資金繰りDIは悪化。経営上の問題点の第1位は6期連続「需要の停滞」。

サービス業

売上高前期比DIと採算期中DIは悪化。資金繰りDIはわずかに改善。経営上の問題点の第1位は3期連続「利用者ニーズの変化」。

売上高 (前期比DI)・採算 (期中DI) の推移



調査企業の声

- * スポーツ市場での売上、引合いが増加してきたので、今秋の需要期に備えて売上げ期待できる。(仕上用・皮膚用化粧品製造業)
- * 前年は地域振興券や住宅券の影響もあり、個人からの仕事が多かったが、今年は住宅の補修への関心もないのか個人からの依頼が減少した。(床工事業)
- * 外商での売上げが伸びている。ウエディングの装花やイベント装花の仕事が増えた。(花・植木小売業)
- * 新車・中古車販売に上昇の兆しが見え始めてきているが、景況が完全に良くなっているとは感じられない。(自動車一般整備業)

注1. DI値(景気動向指数)のプラスは好転、マイナスは悪化とみる。
注3. サンプルは多摩地域 150 企業原数値採用。

注2. DIマーク ☀️: +30 ~ ☁️: +10 ~ +30 ☁️: +10 ~ -10 🌧️: -10 ~ -30 🌩️: -30 ~
注4. 採算は当期中の「好転」-「悪化」のDI値

私と商工会

| vol.16 |



オンリーワンのものづくりで お客様の「できる」を増やす

車いすユーザーの「可能性」が広がるのが喜び
HPの開設は営業マインドの変革につながった

車いす工房 輪
代表 浅見 一志氏

車いすの制作・販売を行う会社に7年間勤めた後、2007年に「車いす工房 輪」を立ち上げました。勤務していた会社の社長の取り計らいにより、その会社で私が担当していた多摩地域のユーザーを、そのまま引き継ぐ形で独立することができました。

独立後に、多摩地域の既存ユーザーを事業ベースとして、5年間の事業計画を立ててみました。しかし、その後をどうするかは、収益性や将来の姿も描けず不安だらけでした。商工会とのお付き合いは、労働保険事務特別加入の相談で東村山市商工会を訪ねたのがきっかけでした。商工貯蓄共済などでもお世話になりました。その後、経営指導員さんから勧められたエキスパートバンクで専門家の指導を受け、2015年には経営変革アシストプログラムで中小企業診断士さんから本格的に中期経営計画（企業変革プラン）の策定支援を受けました。

外部の専門家の客観的な目で計画の策定を行っていただき、これまで気づいていなかったことにも気づかされました。スタッフの教育や目標管理などについても助言をいただき、非常に参考になりました。とくに、ホームページ（HP）の開設は、スタッフ全員がマーケティングマインドをもつ上で貴重な経験になりました。それまでは、既存ユーザーの口コミによって顧客を得る形が主で、営業活動はほとんど行っていませんでした。私だけでなくスタッフにも大きな意識変化が起きています。

私たちが作っている「重度障がい者用の車いす」は、1人ひとり障がいの異なるユーザーに対して、その方の障がいのレベルと生活スタイルに合わせて作るオンリーワンの車いすです。ベースの車いすをカスタマイズしてユーザーの要求に限界まで応えるようにしています。自分にピッタリの車いすがあれば、生活がより快適なものになりますし、行動の自由度も広がります。何よりもユーザーの「可能性」が広がり、ユーザーが明るく積極的になります。それが、私たち作り手の何よりの喜びです。

これからも商工会さんと二人三脚で頑張っていきたいと考えています。

■会社プロフィール

コスト高と制度の変化にどう立ち向かうかが課題

重度の障がい者向けの車いすの製作は究極の一品料理といえる。ユーザーである障がい者の数だけ車いすの種類が必要だからだ。1台1台がオリジナル製品になる。障がい者からの要求は多岐多様で、毎回、新しい機能を求められる。その都度、一つひとつ部品を開発していく。しかし、ノウハウは残るとはいえ、次にそれが生きるかどうかは分からない。

例えば、車いすからベッドに乗り移る時、いすのひじ掛けを越えることができない場合がある。手すりを折りたたむ機能が必要になる。また、操作用のジョイスティックでも、ユーザーの指の力に合わせて負荷を細かく調節しなければならない。座席に用いる素材もユーザーによって変わる。

今、工房では約20台を並行して製作している。アシストプログラムで策定した計画値にほぼ近い受注高で、フル稼働の状況だ。しかし、これでも利益を出すのはなかなか難しいという。一品料理の宿命であるコスト高が最大の理由だ。構造部品の素材も多様化し、制御用ソフトの開発などの外注費もかさむ。そのため、「独自開発にこだわりつつも、コスト減をはかるため民品をどう活用していくか」（浅見代表）が課題となる。

コスト高の克服とともに、重度障がい者用の車いす製作という事業に立ちただかるのが「制度」の問題。浅見代表はこの仕事を「制度ビジネス」という。制度が変わると事業を取り巻く環境が一変するからだ。車いすのレンタル化への制度変更の動きもある。レンタルになると、「長く同じ障がい者と向き合いながら、病状の変化などに合わせて車いすを制作・メンテナンスする」という形のビジネスモデルでは対応が難しい。

ただ、工房の5人のスタッフのモチベーションは高い。浅見代表は頼れるスタッフとともに、さまざまな課題克服に果敢に挑戦中だ。

- 住所：東京都東村山市野口町2-18-5
- TEL：042-391-3328
- URL：http://koborin.com

▶カスタマイズされた車いす
一般的なリクライニングやテイルト機能に加え、ひねる、ねじる、伸ばす機能を加え、好きな姿勢がとれる



石坂 徳康
東村山市
商工会
経営指導員

| 経営指導員から一言 | お客様の可能性を広げる工房

代表の浅見さんには、経営変革アシストプログラムやエキスパート、補助金申請等で商工会を有効に活用して頂いております。

事業所の理念である、お客様の「できる」ことを増やすために、日々努力されている姿を見ると、業務を超えて支援したくなります。制度変更など先行き不透明な部分もありますが、今後も事業の継続発展に向け、寄り添いながら、各種施策やネットワークを活用し、多くの方の「できる」を増やすお手伝いをしていきたいと思っています。

全国商工会経営者 休業補償制度

お問い合わせは
お近くの商工会

または

東京海上日動火災保険

損害保険ジャパン

あいおいニッセイ同和損害保険

●就業中／業務外を問わず、病気・ケガによる
月々の所得を補償します。

●保険料は一般加入より**37～52%**の割引です。

●最長**1年間**のロング補償です。

●入院中はもちろん、**自宅療養**による休業や、
天災が原因のケガによる休業も補償いたします。

12月 1月 EVENT GUIDE

多摩・島しょ地域のイベント

日程	イベント名	会場	内容	主催者・問い合わせ先	
12月	3日	伊豆諸島ウオークin新島(新島村)	新島村内	自然豊かな景観を眺めながらのウォーキング。誰でも楽しめる15kmと10kmのコース	東京都、日本ウォーキング協会、伊豆諸島ウオークin新島実行委員会(04992-5-0001)
	3日~4日	きよせひまわり市(清瀬市)	コミュニティプラザひまわり	市内の農業者と商工者の商品の販売。取れたての清瀬産野菜も販売	きよせひまわり市実行委員会(清瀬市商工会内:042-491-6648)
	10日	第6回伊豆大島マラソン(大島町)	仲の原園地がスタート/ゴール。フルマラソンは大島全島一周	フルマラソン、ハーフマラソン、10kmの3コース	伊豆大島マラソン大会実行委員会(大島町役場内:04992-2-1446)
	23日・24日	大学通り商店会クリスマスイベント(国立市)	国立駅前大学通りの歩道・緑地帯(JR中央線国立駅南口)	ミニコンサート、くになちポイント抽選会などのイベントを昼間に開催。イルミネーションツリーやオブジェは12月3日(土)から1月2日(月)まで点灯	大学通り商店会事務局(国立市商業協同組合事務局内:042-572-1730)
1月	1日	初日の出ジョギング(新島村)	新島村内	十三社神社からサーフィンスポットの羽伏浦海岸までジョギングし、初日の出を拜む	新島村教育委員会(04992-5-0203)
	5日	平成29年新春のつどい(調布市)	調布グリーンホール	新春のつどい	調布市と調布市商工会の共催(調布市商工会:042-485-2214)
	5日	平成29年 昭島まちづくり新年賀詞交歓会(昭島市)	フォレスト・イン昭和解	市内の団体、事業者、行政などが一堂に会し、新年を祝うとともに、幅広く交流を図り、元気都市あきしまのまちづくりを推進	昭島まちづくり新年賀詞交歓会実行委員会(昭島市商工会:042-543-8186)
	11日	新春経済講演会(羽村市)	羽村市生涯学習センターゆとろぎ小ホール	演題:どうなる日本!日本経済の明日を読む 講師:経済ジャーナリスト 須田慎一郎氏	羽村市商工会(042-555-6211)
	18日	三鷹商工会 平成29年新年会(三鷹市)	三鷹産業プラザ	新年会	三鷹商工会(0422-49-3111)
	29日~3月26日	第62回伊豆大島椿祭り・椿プラザ(大島町)	大島全島。メイン会場は大島公園	1月29日はオープニングで「江戸みこし」と「あんこパレード」 3月26日まで盛り沢山のイベントを予定	大島観光協会(04992-2-2177)

念のため主催者に日にち・会場などを確認の上、お出かけ下さい。

水で金属が切れるなんて!

瑞穂にもすごい会社がたくさんあるんだ!

瑞穂町商工会

親子で工場見学会を開催

◀親子で工場見学

瑞穂町商工会は、町内のものづくり企業の工場を親子で見学する「親子で工場見学会」を8月初旬に開きました。コンピュータ数値制御(CNC)工作機械による切削・プレス加工、ウォータージェット加工などを行う企業と、基板設計・組み込みソフト開発などを行う企業6社を訪問、親子でものづくりの現場を見学するとともに、1枚切りカッター(文具)やライントレースロボットの製作にも挑戦しました。

参加したのは小学生とその父母で20人ほど。加工現場を見た子供たちは「水で金属が切れるなんて!」、「瑞穂にもすごい会社がたくさんあるんだ!」などと目を輝かせていました。お母さんも「普段見られない工場の中や、大きな機械を見られたうえに、おみやげまでもらっちゃって」と大満足。夏休みの楽しい思い出になったようです。

この催しを担当した同商工会の種子繁樹係長は「子供たちにもものづくりへの興味をもってもらい、ゆくゆくは瑞穂町のものづくりを背負う人材に…」と、長期的戦略の成果に期待をかけていました。

江戸・TOKYO

技とテクノの融合展

中小企業270社と13の支援機関・団体が出展

東京信用保証協会が主催し、東京都や東京都商工会連合会(都商工連)などが後援する「江戸・TOKYO 技とテクノの融合展2016」が10月12日、東京・丸の内東京国際フォーラムで開かれました。

同展は、中小企業同士のビジネス交流、取引先や提携先の開拓、新技術・新製品のPRなど情報収集の場を提供するビジネスフェア。中小企業約270社、支援機関13機関・団体が出展しました。都商工連も支援機関エリアに出展、来場者に中小企業支援事業などをPRしました。全長6mを超える大型恐竜がリアルに歩き回るパフォーマンスもあり来場者を楽しませました。

開場に先立って行われた開会式では、村山寛司東京信用協会理事長をはじめ、来賓の藤田裕司東京都産業労働局長、村越政雄都商工連会長らがテープカットを行いました。

オープニング
(右から3番目が村越会長)▶

